

「あいさつ名人」の取組

令和6年9月12日

(ホームページ「校長室より」への書下ろし)

大竹小学校では、「あいさつ名人」の取組を行っています。目的は次の通りです。

- 1 あいさつをすることで、相手を喜ばせることができることに気付かせ、自分が役に立っているという気持ちをもたせることができる。(自己有用感の向上)
- 2 教職員、地域の方、保護者にあいさつのできる児童を育てる。

「あいさつ名人」の基準は、次のようなあいさつができる人としています。

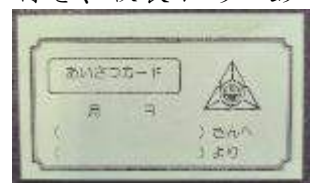
名人のあいさつとは・・・

3つの③ … あかるく、あいてを見て、あたまをさげるを基本に学年ごとに基準を決める。

- (1)低学年・・・明るく元気に
- (2)中学年・・・相手の目を見て 頭を下げる
- (3)高学年・・・立ち止まって 頭を下げる
- (4)その他、相手より先に、自分からあいさつをする。
相手の状況にあわせて、会釈で通りすぎる。等
☆相手を気持ちよくするあいさつができればOK。

「あいさつ名人」への道のりは、次の通りです。

- 1 基準になるあいさつができた児童に職員が「あいさつカード」をわたす。
- 2 「あいさつカード」を台紙に張り、10枚集まったら、校長室に行き、校長から「あいさつバッチ」をもらう。これで「あいさつ名人」に認定される。
- 3 「あいさつ名人」になった児童は、「I W G P (あいさつワールドグランプリ)」のベルトを身に付けた写真を掲示される。
- 4 なお、「あいさつカード」は10枚増えるごとに「あいさつバッチ」をもらえ、「あいさつバッチ」を3つ集めたら「あいさつマスター缶バッチ」をもらう。



あいさつカード



あいさつバッチ

(6種類あり)

「あいさつ名人」の取組を機会に、「あいさつカード」や「あいさつバッチ」がなくても、みんなが気持ちよく生活できるように、児童が「あいさつ」を「良い習慣」として身に付けられることを願っています。

1学期にあいさつを課題としていた4年生も、2学期から学年全体で猛烈にがんばっています！ますます楽しみにしています！

9月10日から、「あいさつしタイガーマスク」が「あいさつバッチ」を児童にわたしています。最初は、リアクションに困っていた児童も「あいさつしタイガーマスク」の姿に慣れてきたようです。

保護者の皆様、地域の皆様も家庭や地域で、児童が気持ちの良いあいさつができるように、これまで以上に声をかけていただけたら幸いです。学校、家庭、地域、みんなで大竹小学校の児童を育てていきたいと思ひます。

よろしくお願ひいたします。

①いてを見て

②かるい声で

③たまを下げる

わたしが、
あいさつバッチを
さしあげます！！



あいさつしタイガー
マスク